



タイトル

『平成29年度 つくば市民意識調査』の結果を公表します。

項目(あてはまるものすべてにチェック)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> イベント・会議等の事前周知依頼 | <input type="checkbox"/> イベント・会議等の取材依頼 |
| <input checked="" type="checkbox"/> イベント会議以外の事業の周知依頼 | <input type="checkbox"/> 参加者募集の告知依頼 |
| <input type="checkbox"/> その他 |) |

全1枚(本紙含む)

<概要>

市民意識調査は、市民の方が感じているつくば市の現状や課題、まちづくりの満足度を把握し、今後の市政運営の参考とするために2年に1度、実施しています(今回は平成27年度)。

今回は、平成29年8月に実施し、まちづくり施策、住環境、少子高齢化等市の各種施策への満足度や調査対象者の現在の生活環境・市政へのご意見等を調査する全35問の質問に回答をいただきました。

調査結果は、市民ニーズに即した施策の展開と各分野の満足度の向上に活用いたします。

※記者会室内の各社ボックスには、添付資料として『調査結果報告書 概要版』も投函しました。

●調査の概要

調査期間：平成29年8月8日～21日

調査期間：18歳以上で市内在住の方3,000人

抽出方法：住民基本台帳からの無作為抽出

調査方法：郵送による配布・回収(希望者はweb回答可)

発送数：3,000通

回収数：1,347通

回収率：44.9%

●主な調査結果

- ・「住み続けたい」「住みやすい」がともに8割を超え、前回調査より共に増加。
- ・「市政に市民が参加できる環境が整っているか」「市政に市民の声が活かされているか」は共に「あまりそう思わない」が最も多い。
- ・「つくば駅周辺の活性化のために必要な取組」では、「商業施設の誘致」が28.7%と最も多く、前回調査から大きく増加し、逆に「特に必要ない(今のままで十分)」は大きく減少。

●結果の公開方法

広報つくば12月号(概要のみ)、市ホームページ、情報コーナー(市役所1階)、各窓口センター、各地域交流センター、中央図書館にて公表しています(11月28日から各窓口等に報告書を設置)。

平成 29 年度 つくば市民意識調査 概要

1 調査の概要

■ 調査の目的

本調査は、つくば市の現状やまちづくりの取組に対する評価や満足度、市民が重要と感じている施策、社会情勢から重点的な取組が必要な課題について、市民の意向などを把握することを目的として実施した。本調査の結果は、今後の市政運営と施策実施の基礎資料として活用する。

■ 調査期間 平成 29 年 8 月 8 日～平成 29 年 8 月 21 日

■ 調査対象 住民基本台帳に記載された 18 歳以上の男女 3,000 人を層化無作為抽出法により抽出

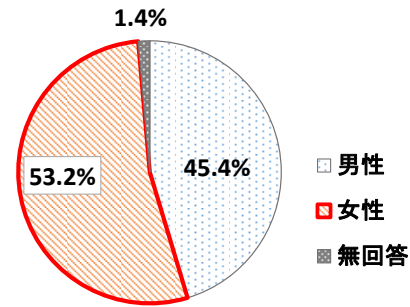
■ 調査方法 郵送配布・回収（※希望者は web 回答も可）

■ 回収状況 発送数：3,000 通（2,400 通）回収数：1,347 通（1,233 通）回収率：44.9%（51.4%）

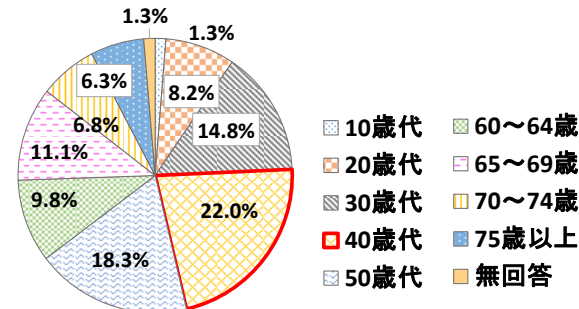
※（ ）内は平成 27 年度の状況

2 回答者の属性

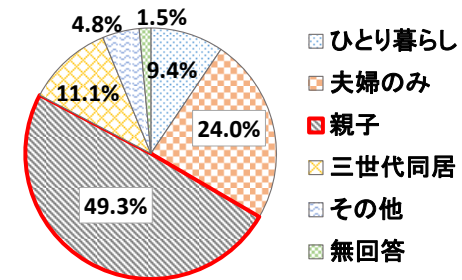
■ 性別



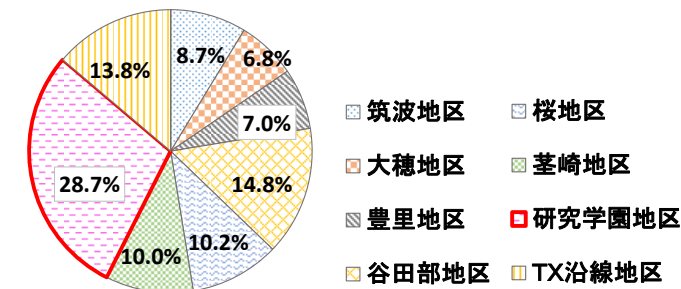
■ 年齢構成



■ 世帯構成

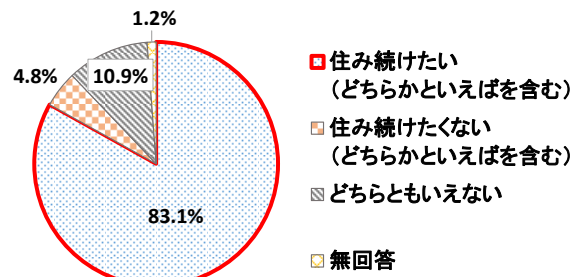


■ 居住地区



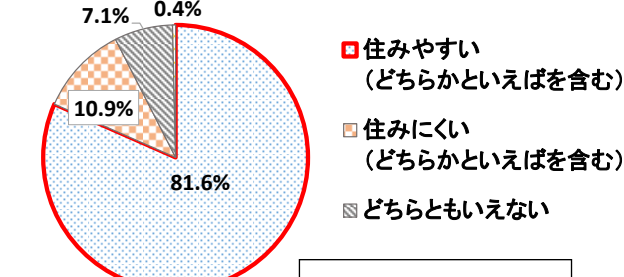
3 住環境について

■ 定住意向（問3）



前回調査より 0.4%増加

■ 住み心地（問4）



前回調査より 0.1%増加

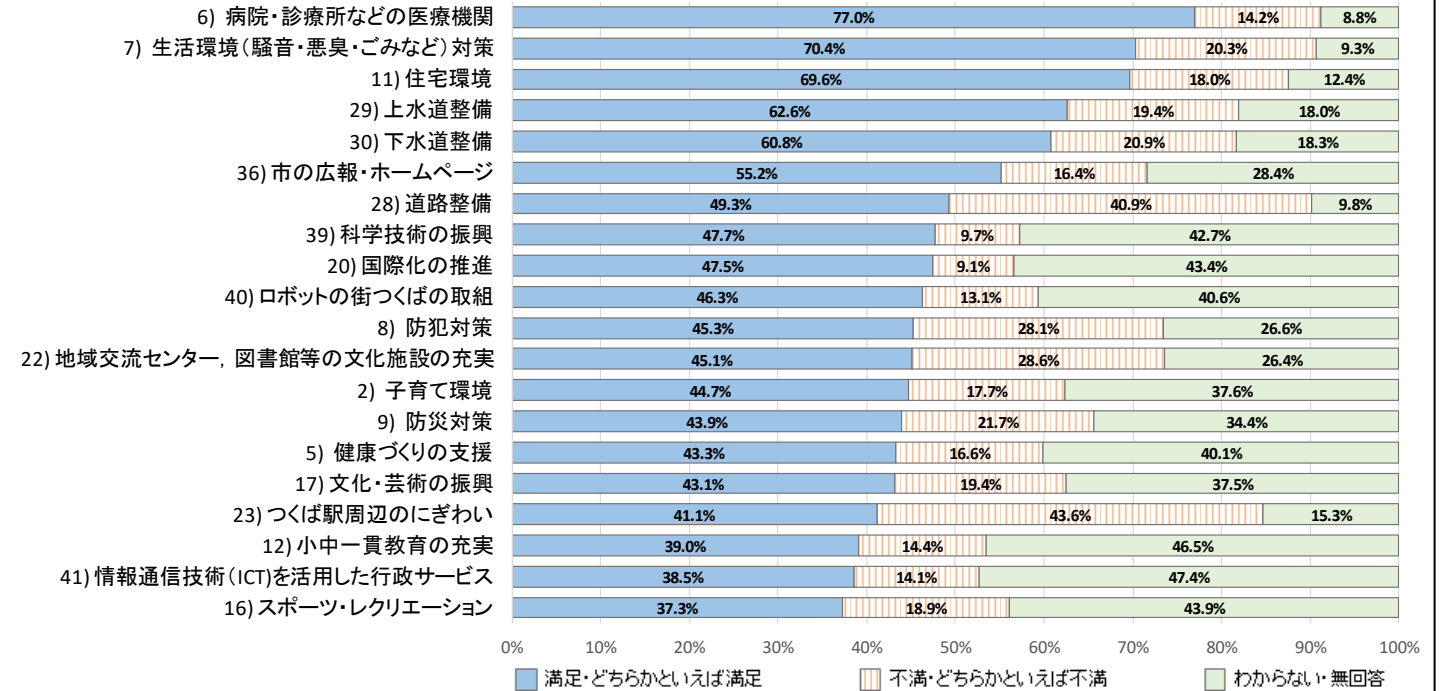
●住みやすい理由は、1位が「豊かな自然」、2位が「日常生活が便利」となっており、過年度調査と比べると、「居住環境が良い」が増加している。一方で、経年比較では「豊かな自然」は減少の傾向となっている。
●一方、住みにくい理由は、「交通の便が悪い」や「日常生活が不便」となっている。



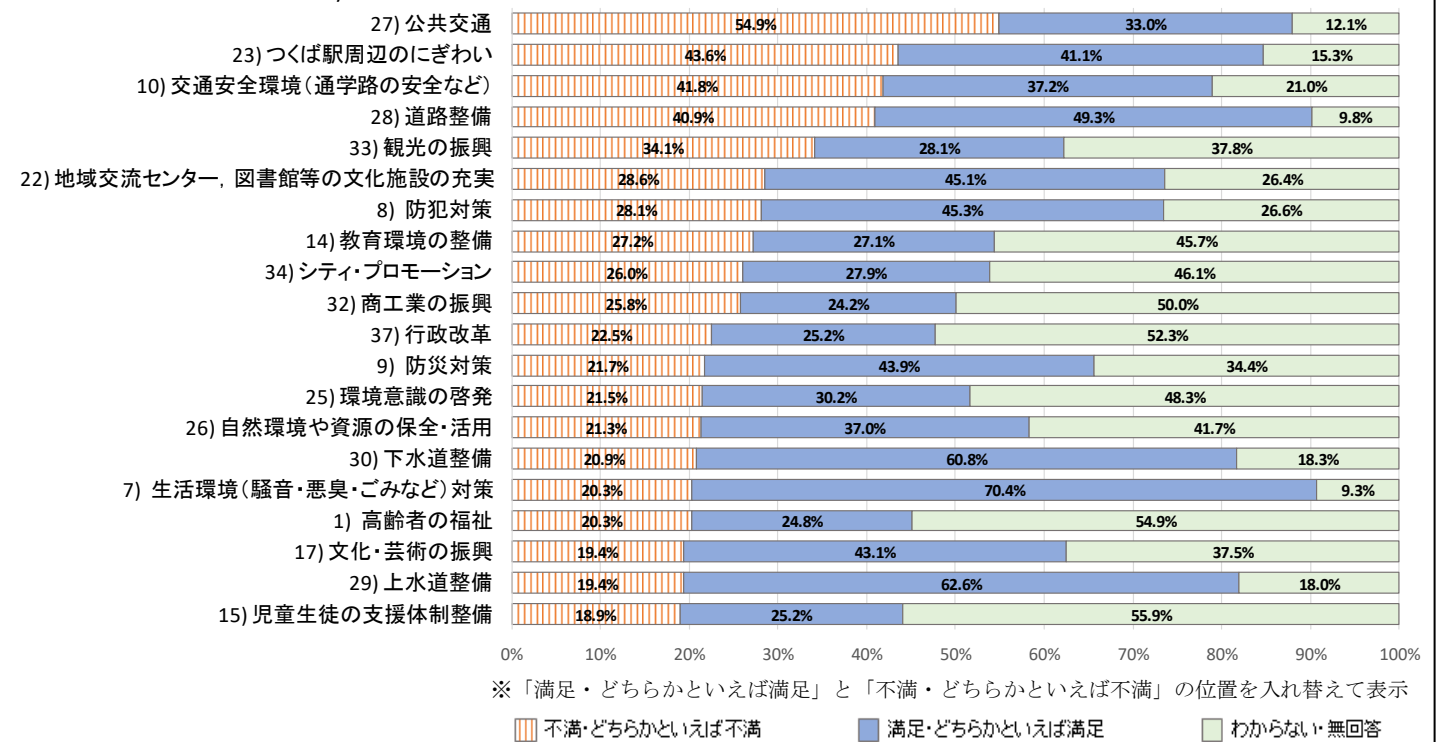
4-1 つくば市の現状やまちづくりへの取組について

■ まちづくりの取組に関する満足度（問9）

・満足割合が高い順に、上位 20 項目まで表示



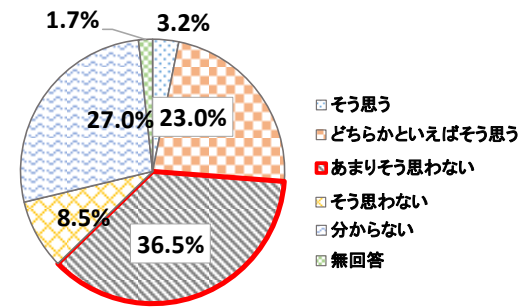
・不満割合が高い順に、上位 20 項目まで表示



●満足の割合が高い項目として「病院・診療所などの医療機関」、「生活環境（騒音・悪臭・ごみなど）対策」、「住宅環境」があげられている。一方、不満の割合が高い項目としては、「公共交通」、「つくば駅周辺のにぎわい」、「交通安全環境（通学路の安全など）」となっている。また、過年度調査と比べると「つくば駅周辺のにぎわい」の満足度が 60.3%から 41.1%へ減少している。

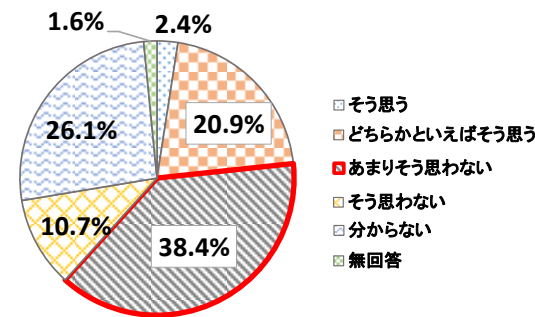
4-2 市政について

■ 市政に市民が参加できる環境が整っていると思うか (問 11)



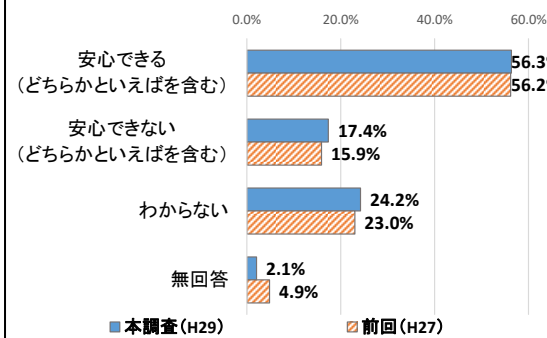
● 市政への市民参加環境が整っているかについては、「あまりそう思わない」が最も多くなっている。
● 市政に市民の声が活かされているかについては、「あまりそう思わない」が最も多くなっている。

■ 市民の声が活かされているか (問 12)

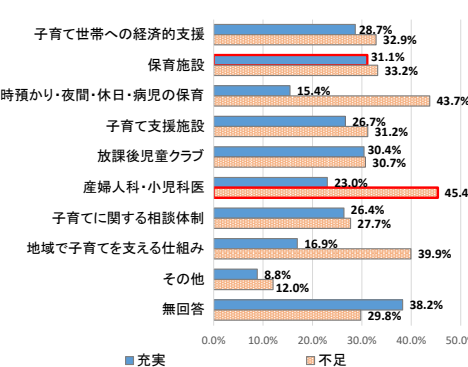


5 少子高齢化への取組について

■ 子育て環境について (問 15, 16)

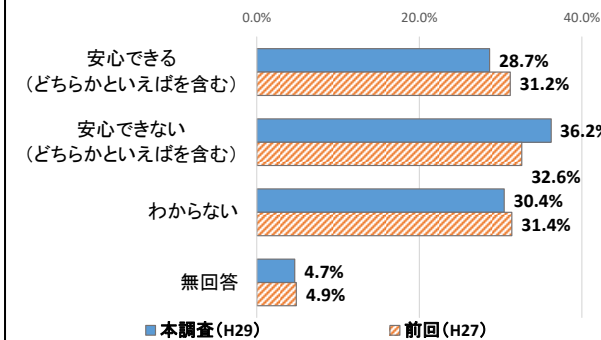


<充実/不足していると思うもの>

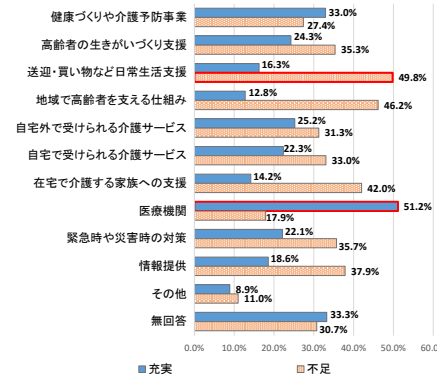


● 子育て環境で充実しているものについては、「保育施設」が最も多く、31.1%、不足しているものについては「産婦人科・小児科医」が最も多く、45.4%となっている。

■ 高齢者の生活環境について (問 17, 18)



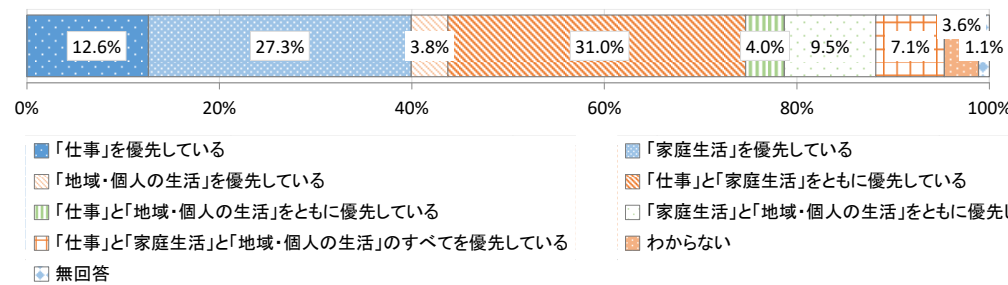
<充実/不足していると思うもの>



● 高齢者の生活環境で充実しているものについては、「医療機関」が最も多く、51.2%、不足しているものについては「送迎・買い物など日常生活支援」が最も多く、49.8%となっている。

6 普段の生活について

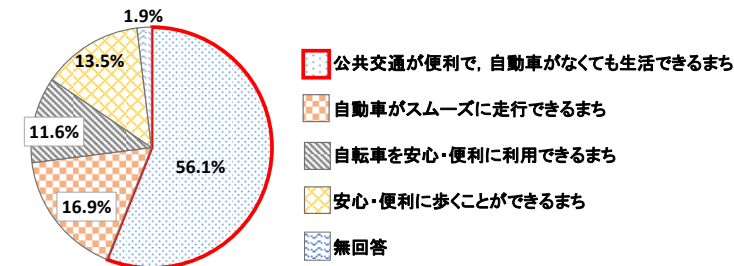
■ 生活の中での優先度 (問 22)



● 生活の中での優先度については、「仕事」と「家庭生活」をともに優先しているが最も多く、31.0%となっている。

7 交通環境について

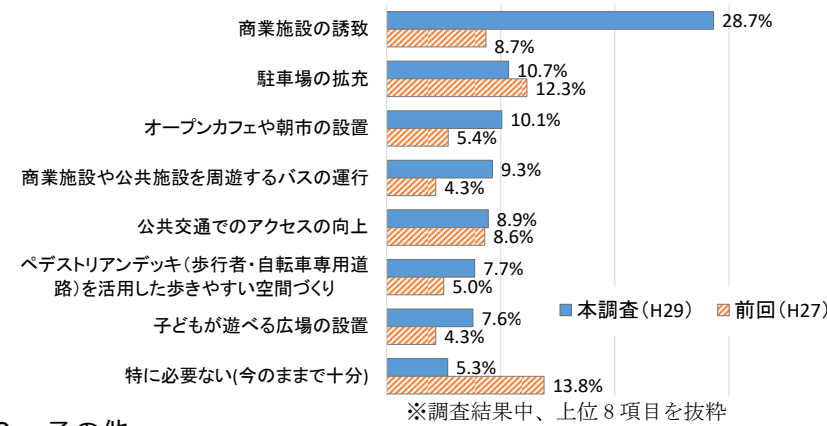
■ 望ましい交通環境 (問 25)



● つくば市の望ましい交通環境については、「公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち」が最も多く (56.1%)、次いで「自動車がスムーズに走行できるまち」が16.9%となっている。

8 つくば駅周辺地区の活性化

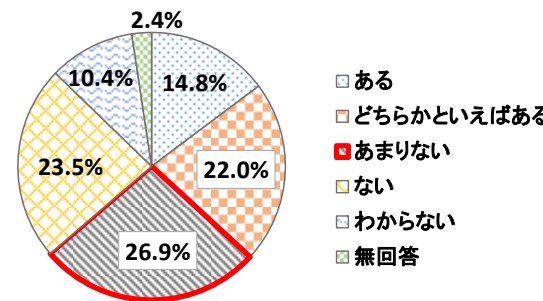
■ 活性化のために必要な取組 (問 30)



● 「商業施設の誘致」が最も多くなっている。
● 過年度調査と比べると、「商業施設の誘致」の割合が大きく増加し、「特に必要ない(今のままで十分)」が減少している。

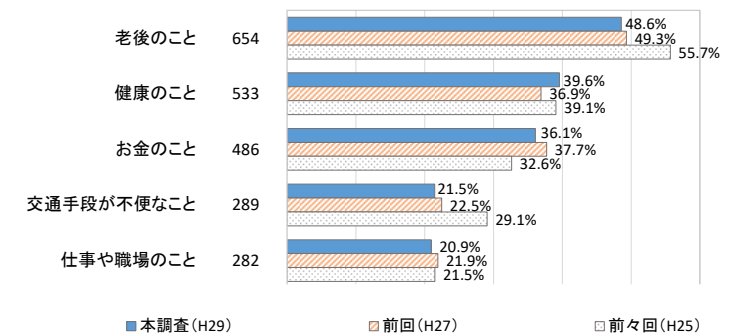
9 その他

■ 「科学のまち」に恩恵を感じることがあるか (問 32)



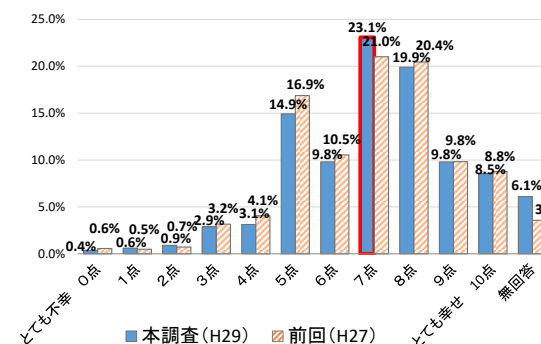
● 「あまりない」が最も多く26.9%、次いで「ない」が23.5%となっている。

■ 心配事 (問 35)



● 「老後のこと」が最も多くなっている。過年度調査と比べると、「健康のこと」が増加している。

■ 幸福度 (問 33)



● 「7点」が最も多くなっている。過年度調査と比べると、「8点」が減少している。